



# さくら花

笑顔満開さわやか角小

**重点：4つあ**

- あいさつ ●あんぜん
- あい読書 ●あとしまつ

4

H29年5月9日（火）発行

## 桜も笑顔も満開 さくらの町の案内人

本校4年生恒例の学習活動(総合的な学習の時間)として、「さくらの町の案内人」が、4月21日(金)と28日(金)の午前中2回、たくさんの地域のボランティアのみなさんや、保護者のみなさんの御協力をいただき実施されました。

この活動は、今年度で16回を数える角館小学校ならではの特色ある学習活動です。全国から花見に訪れた観光客のみなさんに、角館のさくらや武家屋敷の説明、お祭りの紹介やお勧めポイントやお勧めのお土産の紹介などをプレゼンテーションするもので、自分たちの町の良さを再発見し、おもてなしの心を養うとともに、自分の言葉でしっかり説明できる表現力の向上なども目的としています。1グループ4～5名の15グループで、伝承館付近と土手の桜並木周辺に分かれ、観光客を捕まえて1組7～10分ほどのプレゼンを行いました。1日目は、まだ肌寒く、土手の桜はまだつぼみでしたが、武家屋敷通りは、しだれ桜が咲き始め、たくさんの観光客がいて、子供たちははりきって、休む間もなく案内をがんばりました。雨で延期した2回目の案内は、晴れたり、小雨が降ったりと落ち着かない天候でしたが、土手の桜も見頃を迎え、観光客も初日よりたくさん出ていました。はじめは緊張し、表情も硬かった子どもたちも、説明の回を重ねるにつれて、堂々として分かりやすい説明ができるようになりました。海外のお客さんに会い、積極的に英語であいさつするグループもありました。観光客のみなさんから、温かいお褒めの言葉や感謝の言葉をたくさんもらい、自信と笑顔が見られるようになりました。子どもたちにとっても実り大きい活動となりました。ご協力いただきましたサポーター、保護者のみなさん、聞いていただいた全国の観光客のみなさんありがとうございました。



# 今年度の特色ある取組について①

角館小学校は、今年度開校10周年、大きな区切りの年を迎えます。開校前のそれぞれの小学校の伝統の上に、開校以来築き上げてきた新たな伝統を守りつつ、時代に要請や課題に応えながら、保護者のみなさんや地域のみなさんに信頼され、愛される学校づくりに向けて、今年度も職員一同気を引き締めてがんばっていきます。

## その1 東北地区小学校特別活動研究協議会研究大会

平成27年度・28年度2年間文部科学省教育課程「特別活動」研究指定校として研究実践を積み重ねてきました。3年目は、さらに研究を深めていきます。そして、11月2日(木)には、本校を会場に東北地区小学校特別活動研究協議会研究大会が開催され、これまでの成果を発表します。

当日は、市内の全小・中学校の先生方全員と秋田県・東北各県の関係の先生方が来校され、本校と角館中学校の全学年から1学級ずつ授業を公開します。

「特別活動」には、係活動や話し合い活動の学級活動と児童会・委員会など児童会活動、クラブ活動、学校行事などがあります。主に学級単位で、学級の諸問題や学級生活を豊かにするために、自分たちが何ができるか考え、自分たちで提案した議題を話し合い、様々なイベントや実践事項を決めて実行し、達成感や成就感を味わいながら、自主性や自発性、自己有用感や自尊感情を高めていくという学習活動です。この研究を柱に、私たち教師が子どもたちをバックアップし、自主性や自発性を育て、子どもたちの力で、学校に活力と元気をつくり、子どもたち自身も「学校が楽しい」と言える学校づくりを積極的に推進していきます。そしてこの特別活動を柱に一点突破全面展開し、よりよい人間関係の構築と話し合い、学び合う力の向上を図り、学力向上を目指します。

## その2 学校地域支援本部事業

学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子ども達を育てる体制を整えることを目的に、秋田県教育委員会と仙北市教育委員会の支援を受けて始めたこの事業も6年目となりました。学校の授業等で必要とする活動について、地域の方々をボランティアとして派遣する組織で、「地域につくられた学校応援団」です。

派遣の窓口として「地域コーディネーター」があり、今年もM.さんとA.さんをお願いしております。4年生の桜のまち案内人の活動の引率ボランティア、3年生のものづくり活動の講師、5年生のミシンの授業のお手伝い等他にも協力いただいております。

## その3 五色百冊読書チャレンジ・五色百人一首暗唱

「五色百冊読書チャレンジ」を継続します。これは二十冊読む毎に色違いの賞状(兼:記録用紙)を準備し、青、桃、黄、緑、橙の賞状を手にする事で、子ども達の100冊読破達成をねらうものです。今年度もチャレンジャーが校長室に来ています。また、五色百人一首暗唱も2年生を中心に、休み時間になると校長室の道場に来てくれています。子どものやる気を引き出し、暗唱力を高め、さらに古典の理解につながる活動を本年度も継続し、意欲的に取り組んでいる子どもたちを応援します。

## その4 自問清掃

掃除についての目的意識を、「学校をキレイにするため」→「人間として成長するため」とします。おしゃべりをがまんして、一生懸命掃除をすること《がまん玉》。どうしてもしゃべりたくなったり遊びたくなったりしたときは、掃除の邪魔にならない場所に座って自問すること。まわりの人の気持ちや困っている様子を考え、気配りをしながら働くこと《しんせつ玉》。早く掃除が終わった場合でも、他に美しくできる所がないか見つけながら、時間いっぱい掃除をすること《みつけ玉》。これらの「がまん玉(意志力)・しんせつ玉(情操)・みつけ玉(創造性)」を自分で磨くための清掃時間と位置づけます。児童一人一人の「自発性」を高め、人間力を高めます。

※次号につづく